

(様式1)

学校番号 (小)・中 103)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(井伊谷小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 委員は、学校運営協議会についての理解を広めるために、地域の子供や住民と積極的にコミュニケーションをとり、学校の教育活動や努力を伝えるとともに、学校が地域によって支えられていることをアピールする。
- 子供を取り巻く社会環境が大きく変化している。委員一人一人が社会や教育の変化について自ら学び受け入れ、それを踏まえて様々な角度から熟議をする。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた (イ) できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校運営の基本方針について詳しい説明があった。子供たちの実態や保護者、教職員による学校評価、地域等からの学校への願いなどと考え併せてしっかり熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた (イ) できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校支援活動として、学習ボランティアの充実をするための熟議を行った。今年から学習ボランティアを進めることができるようになり、さらなる充実に向けて熟議を行うことができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った (イ) 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校ホームページやブログなどでの情報発信ができた。ただ、どれだけの方が認知してくれているかは疑問である。より有効な情報発信の方法については今後も検討していきたい。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

地域の子供や住民と積極的に関わり、学校の教育活動の現状や学校教職員の思いや努力を伝えるとともに「地域の学校」という意識をもってもらえるようにする。

委員一人一人が社会や教育の変化について学び、それを踏まえて様々な角度から熟議をする。